

健康・まちづくりの一環として設定されたウォーキングコースの構成要素

戴 璟宜

1. はじめに

1.1. 研究の背景

福岡市では、都市計画において、まちづくりと同時に健康推進の一環としてウォーキングコースの整備及びウォーキングマップ作成を行い、「あいさつ運動」「仲間づくり」「地域の魅力発見」「防犯活動」などの効果も期待されている。そこで、どのようなコース・マップがより効果的なのかを明らかにする必要がある。

1.2. 既往研究と研究の目的

関連する既往研究は、ヒアリング調査を主とした都市のウォーキングコースに対する市民の意識調査をまとめた杉浦らの研究¹⁾や西部らのウォーキングにおける風景の重要性を明らかにした研究²⁾などがある。しかし、複数のウォーキングマップを対象に、含まれるすべての要素を集計し、どのような基準で設定されているのかに着目したものは少ない。

本研究では、福岡市のウォーキングマップ^{注1)}を対象に、どのようにウォーキングコースが設定されているのかを調査し、どのような街路がウォーキングコースとして適切であるかを明確にすることで、現存するウォーキングコースの問題点を明示し、改善につながる情報提供を行うことを目的とする。

1.3. 研究方法

福岡市ウォーキングのホームページに掲載されているウォーキングマップとウォーキングコースを対象

に、それらの名称やマップに含まれる要素をテーマ別に分類し、情報整理を行い、どのような要素またはその組み合わせが良いウォーキングコースを構成するのかわかるとした。さらに、いくつかのコースをピックアップし、それらの良い点、悪い点及び現状との齟齬を明らかにし、ウォーキングマップの考察を行った。

2. 福岡市ウォーキングマップの概要

2.1. 各区のマップの概要

福岡市ウォーキングのホームページに掲載されているウォーキングマップとコースを集計した(表1)。ウォーキングコースは2kmから4km、30分から60分のものであることがわかった。

表1 各区のウォーキングマップとウォーキングコース数

	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	合計
ウォーキングマップ数	31	3	8	22	13	31	23	131
ウォーキングコース数	154	3	8	22	13	106	104	410

2.2. 各区の取り組み

健康日本21の福岡市計画において、運動・身体活動に関する取り組みの一つである広報啓発の一環としてウォーキングコースの設定を行ったほか、各区独自の取り組みもされていた。福岡市各区のウォーキングマップ・ウォーキングコースに関する取り組みなどをホームページまたは担当者より収集した情報を表にまとめた(表2)。観光客の多い博多区は更新頻度が高く、内容も観光客向けになっている。また、地区ごと・校区ごとで同時に作られる区は、両者の兼ね合いはなく、各自作成していることが分かった。

表2 各区の取り組み

	目的	作成経緯・取り組み	作成団体	作成年(最終更新)	更新頻度・予定
東区	健康増進	健康日本21(H25)で福岡市都市計画における健康推進の取り組みの一環	各地域の健康づくり実行委員会や自治会	2007~2015年	-
博多区	博多のまちの歴史や文化、グルメ等の魅力を紹介し、まち歩きルートを提案し、回遊性の向上と歩いて楽しいまちづくりを推進する	『九州』『アジア』の玄関口である博多駅地区を舞台に、住む人、働く人、訪れる人が主役となったまちづくりを進め、皆に愛され誇れるまち、新たな時代の魅力的な風格のあるまちを創造していく。』の理念をもとにした回遊促進活動の一環	博多まちづくり推進協議会	2022年	毎年
中央区	健康推進	健康日本21(H25)で福岡市都市計画における健康推進の取り組みの一環	校区の役員やそれに詳しい地域の方々	H25	なし
南区	街の魅力発見、健康増進	不明	南区役所企画振興課	H10年代	なし
城南区	地域の魅力発見 健康増進	H15あたりに関係局が集まって、まちづくりの一環として地域住民の意見を取り入れ、地域の魅力的な場所をもとにコースを作成	城南区保健福祉センター-地域保健福祉課 地域住民	(記録ある範囲内) H17	5年に一度 次回は2025年
早良区	ウォーキング推進 健康づくり	地区ごと：福岡市ウォーキング人口増加や運動推進と連携して作成 校区ごと：校区の方が福祉課と一緒に計画し作成 地区ごとのマップと小学校校区ごとのマップは兼ね合いせず別々で作成	早良区保健福祉センター-地域保健福祉課 地域住民	地区ごと：初版H28.3 校区ごと：不明	予定はないが、修正は適宜行う
西区	住民の健康づくり 地域の魅力発見	地区ごと：H19にボランティアを募集し、ワークショップで作成 校区ごと：校区の健康づくりにかかわる方や住民と魅力的なところや名所を選んで作成 地区ごとのマップと小学校校区ごとのマップは兼ね合いせず別々で作成	西区保健福祉センター-地域保健福祉課	地区ごと：H19 校区ごと：H16-18	地区ごと：更新時期は決まっていなかったが何かあったら検討する 校区ごと：予定なし

3. 福岡市ウォーキングマップの分析

3.1. コース名による分類

福岡市のウォーキングコース名よりキーワードを読み取り、「自然景観」「歴史文化」「健康」「その他」に分類し、コース名から複数のキーワードが読み取れるものをまとめた（表3）。

福岡市全体において、自然景観に関するキーワードが含まれるコースは44.1%で最多となり、コース名に分類できるキーワードが含まれていない、つまりコース名からではどのようなものか読み取れないコースは全体の42.0%となった。また、ウォーキングコースの取り組みの目的の一つである健康に関するキーワードが含まれているのは全体のわずか3.9%となった。

3.2. マップ要素による分類および分析

1) 各コースの要素

自然景観と歴史文化をさらに細分化し、ウォーキングコースをウォーキングマップ上の要素により各区のウォーキングコースの集計を行った（表3）。

自然景観の要素が含まれるコースは全体の89.3%と高く、区によるばらつきはあまり見られなかった。なかでも公園・地形に関する記述が7割ほどで、植物に

関する記述が6割ほどと大半を占めた。歴史文化の要素が含まれるコースは全体の50.5%を占めており、区によるばらつきが大きかった。ウォーキングコースの総数が100を超える東区、早良区、西区で比較すると、西区は69.2%と高かった。

2) 各コース要素の組み合わせ

ウォーキングコースの総数が100を超える東区、早良区、西区を対象に、各要素の組み合わせの分類を行った。「自然景観」のみ、「歴史文化」のみ、「自然景観」「歴史文化」「自然景観」「歴史文化」「健康」「その他」の4つに分けて、それぞれに含まれている要素数とコース数をまとめた。さらに、それぞれの要素数における上位の組み合わせとそのコース数を集計した（表4）。

全体的に東区は早良区や西区と比べて要素の記述が少ない。すべてにおいて最も多いのは「植物」「公園」「地形」の組み合わせで、それぞれの要素が相互に影響し合い形成されるといえる。西区では「公園」「地形」「神社・寺院」「旧跡・城跡」の組み合わせが多く見られた。これは西区が背振山系と玄界灘に囲まれ、さらに能古島、玄界島、小呂島の3つの島を抱いた形をしており、その上遺跡が多く存在するため、それらが含まれるコースの設定が比較的容易であると考えられる。

表3 ウォーキングコース名による分類とウォーキングマップ上の要素による分類

		東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	合計	
コース名	自然景観	61(39.6%)	0(0.0%)	4(50.0%)	17(77.3%)	10(76.9%)	32(30.2%)	57(54.8%)	181(44.1%)	
	歴史文化	20(13.0%)	1(33.3%)	2(25.0%)	6(27.3%)	0(0.0%)	12(11.3%)	18(17.3%)	59(14.4%)	
	健康	7(4.5%)	0(0.0%)	0(0.0%)	1(4.5%)	0(0.0%)	5(4.7%)	3(2.9%)	16(3.9%)	
	その他	69(44.8%)	2(66.7%)	3(37.5%)	4(18.2%)	3(23.1%)	59(55.7%)	32(30.8%)	172(42.0%)	
かぶり	自然景観と歴史文化	5(3.2%)	0(0.0%)	1(12.5%)	5(22.7%)	0(0.0%)	1(0.9%)	3(2.9%)	15(3.7%)	
	自然景観と健康	1(0.6%)	0(0.0%)	0(0.0%)	1(4.5%)	1(7.7%)	2(1.9%)	3(2.9%)	8(2.0%)	
	合計	125(81.2%)	3(100.0%)	8(100.0%)	22(100.0%)	13(100.0%)	100(94.3%)	95(91.3%)	366(89.3%)	
マップ上の要素	1 自然景観	A植物	89(57.8%)	0(0.0%)	7(87.5%)	22(100.0%)	13(100.0%)	72(67.9%)	40(38.5%)	243(59.3%)
		B動物	28(18.2%)	0(0.0%)	1(12.5%)	21(95.5%)	9(69.2%)	27(25.5%)	15(14.4%)	101(24.6%)
		C景色	21(13.6%)	0(0.0%)	5(62.5%)	11(50.0%)	6(46.2%)	10(9.4%)	14(13.5%)	67(16.3%)
		D公園	101(65.6%)	3(100.0%)	8(100.0%)	22(100.0%)	12(92.3%)	86(81.1%)	64(61.5%)	296(72.2%)
		E地形	70(45.5%)	3(100.0%)	8(100.0%)	22(100.0%)	13(100.0%)	82(77.4%)	90(86.5%)	288(70.2%)
	合計	125(81.2%)	3(100.0%)	8(100.0%)	22(100.0%)	13(100.0%)	100(94.3%)	95(91.3%)	366(89.3%)	
	2 歴史文化	F神社・寺院	30(19.5%)	3(100.0%)	6(75.0%)	20(90.9%)	4(30.8%)	33(31.1%)	57(54.8%)	153(37.3%)
		G旧跡・城跡	12(7.8%)	3(100.0%)	5(62.5%)	7(31.8%)	1(7.7%)	6(5.7%)	33(31.7%)	67(16.3%)
		H石碑・記念碑	12(7.8%)	0(0.0%)	2(25.0%)	7(31.8%)	1(7.7%)	10(9.4%)	14(13.5%)	46(11.2%)
		I石像	7(4.5%)	0(0.0%)	4(50.0%)	6(27.3%)	3(23.1%)	4(3.8%)	12(11.5%)	36(8.8%)
		Jその他	2(1.3%)	2(66.7%)	1(12.5%)	0(0.0%)	0(0.0%)	7(6.6%)	3(2.9%)	15(3.7%)
	合計	43(27.9%)	3(100.0%)	7(87.5%)	20(90.9%)	5(38.5%)	57(53.8%)	72(69.2%)	207(50.5%)	
	3 健康	合計	13(8.4%)	0(0.0%)	3(37.5%)	3(13.6%)	1(7.7%)	8(7.5%)	6(5.8%)	34(8.3%)
4 その他		4(2.6%)	3(100.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	4(3.8%)	0(0.0%)	11(2.7%)	
合計		154(100.0%)	3(100.0%)	8(100.0%)	22(100.0%)	13(100.0%)	106(100.0%)	104(100.0%)	410(100.0%)	

表4 各ウォーキングコースに含まれる要素の個数とその組み合わせ

要素のテーマ	要素の個数、最多の組み合わせ															
	0	1		2		3		4		5		6		7		8
東区	自然景観	9(5.8%)	44(28.6%)	D	55(35.7%)	AD	29(18.8%)	ADE	17(11.0%)	ABDE	-	-	-	-	-	-
	歴史文化	111(72.1%)	29(18.8%)	F	9(5.8%)	FG	4(2.6%)	-	1(0.6%)	-	-	-	-	-	-	-
	自然景観・歴史文化	8(5.2%)	26(16.9%)	D	51(33.1%)	AD	41(26.6%)	ADE	21(13.6%)	ABDE	6(3.9%)	ACDEF	-	1(0.6%)	-	-
	全テーマ	1(0.6%)	30(19.5%)	D	53(34.4%)	AD	38(24.7%)	ADE	23(14.9%)	ABDE	8(5.2%)	ACDEF	-	1(0.6%)	-	-
早良区	自然景観	4(3.8%)	14(13.2%)	D	31(29.2%)	DE	29(27.4%)	ADE	26(24.5%)	ABDE	2(1.9%)	-	-	-	-	-
	歴史文化	69(65.1%)	22(20.8%)	F	9(8.5%)	FH	4(3.8%)	FGH	2(1.9%)	-	-	-	-	-	-	-
	自然景観・歴史文化	4(3.8%)	12(11.3%)	D	16(15.1%)	DE	28(26.4%)	ADE	32(30.2%)	ABDE	7(6.6%)	ABDEF	3(2.8%)	4(3.8%)	ACDEFGH	3(2.9%)
	全テーマ	1(0.9%)	13(12.3%)	A	16(15.1%)	DE	30(28.3%)	ADE	28(26.4%)	ABDE	10(9.4%)	ABDEF	4(3.8%)	4(3.8%)	ACDEFGH	4(3.8%)
西区	自然景観	8(7.7%)	22(21.2%)	E	32(30.8%)	DE	3(2.9%)	ADE	11(10.6%)	ACDE	-	-	-	-	-	-
	歴史文化	32(30.8%)	39(37.5%)	F	22(21.2%)	FG	8(7.7%)	FGH、FGI	3(2.9%)	FGHI	-	-	-	-	-	-
	自然景観・歴史文化	0(0.0%)	12(11.5%)	D、F	17(16.3%)	EF	28(26.9%)	ADE	21(20.2%)	ADEF	10(9.6%)	ADEFG	6(5.8%)	2(1.9%)	-	1(1.0%)
	全テーマ	2(1.9%)	12(11.5%)	D、F	15(14.4%)	EF	28(26.9%)	ADE	22(21.2%)	ADEF	11(10.6%)	ADEFG	5(4.8%)	3(2.9%)	-	1(1.0%)

4. 福岡市西区の現地調査

西区のウォーキングコースおよび主要道路をマップにまとめた^{注2)} (図1)。海沿いと集合住宅間にウォーキングコースが密集していることが分かった。

これを踏まえて、複数のマップが重なり、ウォーキングコースが密集している壱岐エリアと、「歴史文化」関連の要素が多い周船寺エリアのみやざきびらきコース、同様なコースとなる玄洋校区および今宿エリアの今山コースを対象に現地調査を行った。

4.1. 複数のマップが重なる地区—壱岐地区

壱岐エリアのにしく楽しくウォーキングマップ、壱岐南校区の壱岐南歩こうマップ、壱岐校区の壱岐・いきいき！ウォーキングマップ、壱岐東校区の壱岐東ウォーキングロードの4つのマップが存在する。そこで、重合度が高い①壱岐エリアにしく楽しくウォーキングマップの「西の丘、拾六町コース」、壱岐校区の壱岐・いきいき！ウォーキングマップの「博多・今津湾一望コース」と②壱岐エリアにしく楽しくウォーキングマップの「生松台中央公園コース」と壱岐校区の壱岐・いきいき！ウォーキングマップの「生松台中央公園チャレンジコース」を対象に現地調査を行った(図2)。

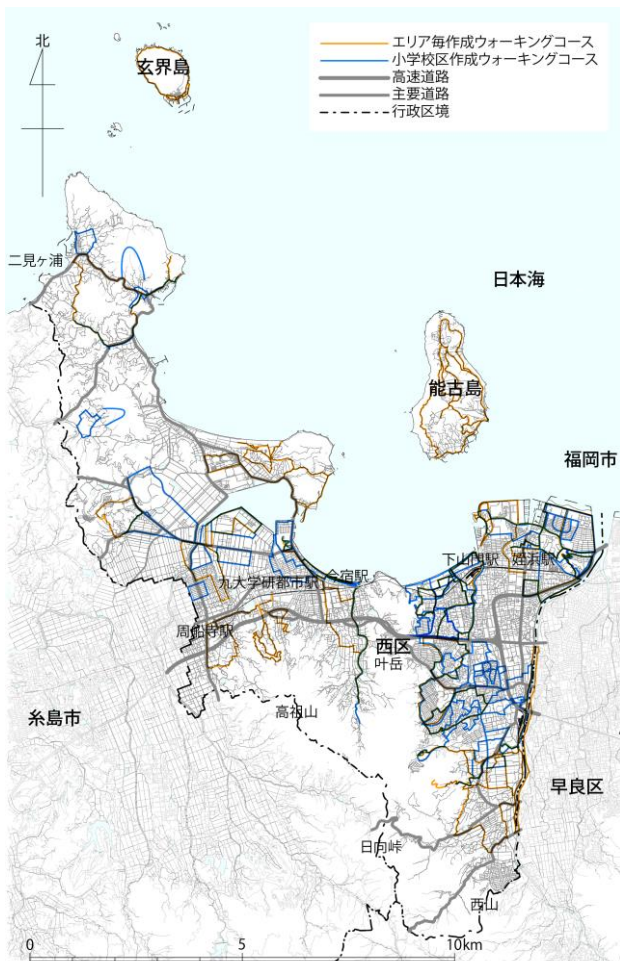


図1 西区のウォーキングコース

壱岐エリアには坂が多いため、①②はどちらも坂と他の要素の組み合わせが多く見られた。住宅街の中を通るウォーキングコースが多く、ウォーキングまたはジョギングをしている人も複数見受けられたため、地域住民の生活に密着したウォーキングコースといえる。

問題点として3つ挙げられる。1つ目はウォーキングコース自体設定されたのが約十年前だったため、道が変わっている箇所があり、更新する必要がある。2つ目は校区ごとのマップは制作団体がそれぞれ異なるため、道の形を再現したものと再現してないものがあり、マップの形によっては読み取りにくい部分があった。3つ目はウォーキングマップに記載されているもの以外でも複数の魅力的な要素があり、それらも同時に記載した方が妥当である。

4.2. 歴史文化要素多数—みやざきびらきコース

周船寺エリアのみやざきびらきコース(図3)のマップから読み取れる要素を表にまとめた(表5)。

コース全体で3.2kmあり、九大学研都市駅から高祖山のふもとまで延びるコースである。それぞれの要素が離れており、要素間のつながりとなるものもないため、種類は多いにもかかわらず、全体の密度が低い。

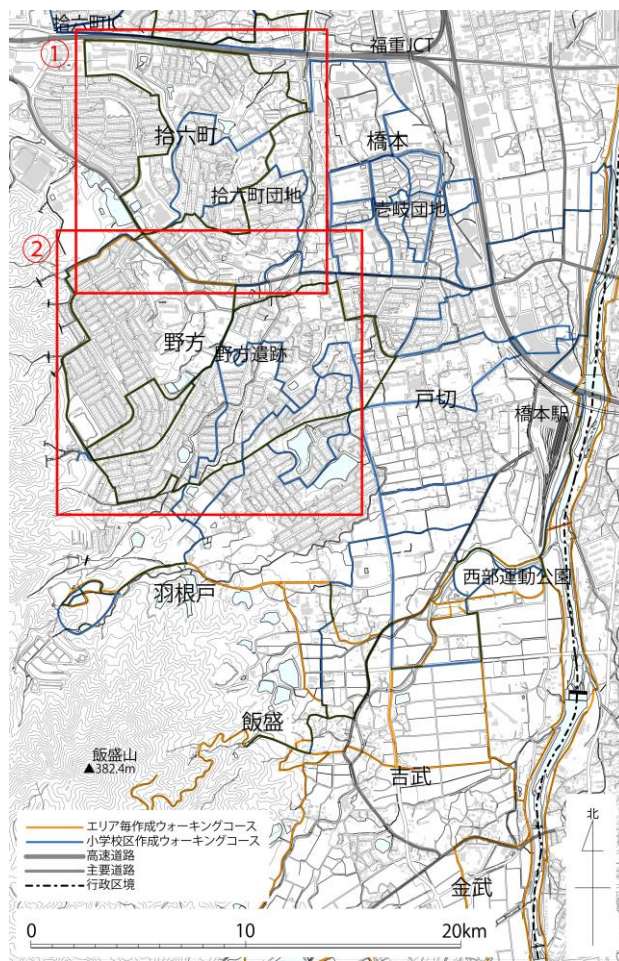


図2 壱岐地区のウォーキングコース

4.3. 同様なコースが存在—今山コース

今山コースのマップから読み取れる要素を表にまとめた(表6)。また、二つのコースを一枚のマップにプロットし、今山でのコースが一致していることが分かった(図4)。

同じ今山のウォーキングコースであるにもかかわらず、要素数の合計では大きく差が出た。今宿エリアのマップは、歴史文化関連の要素を細かく書き記されているが、それ以外の要素はほとんど言及されておらず、どのような場所か判断しにくい。さらに、玄洋校区と今宿エリアのマップ両方とも拡大した今山コースのマップを載せているが、後者は「階段あり」の表記のみに対し、前者は「ウォーキング上級者向け」や段数まで細かく表記している。実際500段ほどの階段がある上、舗装されていない山道もあるため、前者の詳細を含む説明が望ましい。したがって、同じコースでも表記の仕方が異なれば、人の受け取り方も異なってくるので、必要情報を明確にし、それぞれのコースに合った表記をするべきである。

5. おわりに

本研究では、まず福岡市ウォーキングに掲載されているウォーキングマップを対象にコース名・マップ上の要素をもとに分類した。次に福岡市東区・早良区・西区を対象に、ウォーキングマップの要素の組み合わせに関する考察を行った。さらにいくつかのコースの

表5 周船寺エリアみやざきびらきコースの要素

エリア	コース名	1自然景観				2歴史文化				3 4		合計		
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J		K	L
周船寺	みやざきびらきコース	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	7

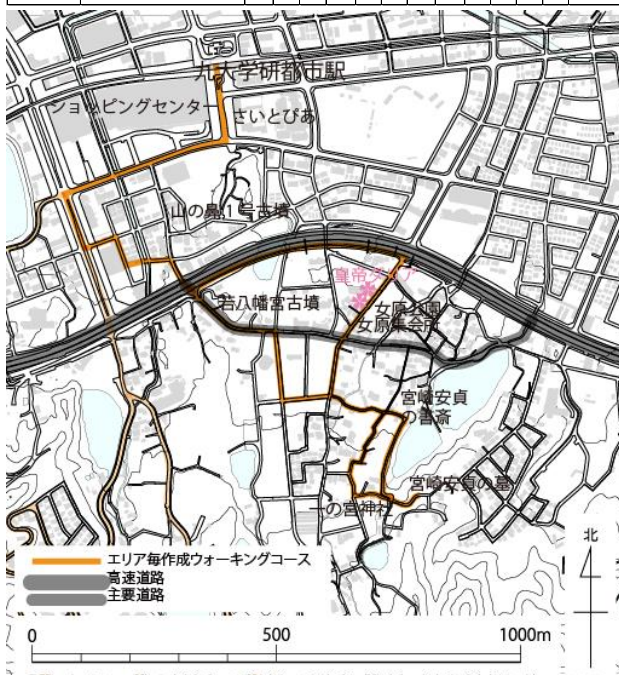


図3 周船寺エリアみやざきびらきコース

現地調査を行い、それぞれのコースの考察を行った。

調査の結果により、自然景観の要素が含まれるコースは全体的に9割と高く、区によるばらつきも小さいが、歴史文化の要素が含まれるコースは全体の約半分で、区によるばらつきが大きいことが分かった。要素の組み合わせとして、「植物」「公園」「地形」の組み合わせが最も多くなった。このような結果になったのはこれらの要素が相互形成していると考えられる。さらに、西区では自然景観と歴史文化の要素の混合的な組み合わせが多く見られたのは、その背景に西区全体にわたる豊かな自然環境と伊都国の歴史があったと考えられる。また、同じコースでもマップの表記によって得られる情報量が全く異なり、利用者やそのコースに合わせたものにする必要があることがわかった。

【補注】

- 1) 福岡市ウォーキング ホームページ
- 2) 国土地理院の基盤地図情報をもとに作成

【参考文献】

- 1) 杉浦裕二、坂本淳二「市民意識調査にみる都市のウォーキングコースのあり方に関する課題」日本都市計画学会 都市計画論文集 2006
- 2) 西部絵理、真田純子「ウォーキングにおいて重要視される風景とその役割に関する研究」日本都市計画学会 都市計画論文集 2009

表6 玄洋校区・今宿エリア今山コースの要素

エリア	コース名	1自然景観					2歴史文化				3 4		合計	
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K		L
玄洋	今山コース	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	8
今宿	今山コース	0	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	5

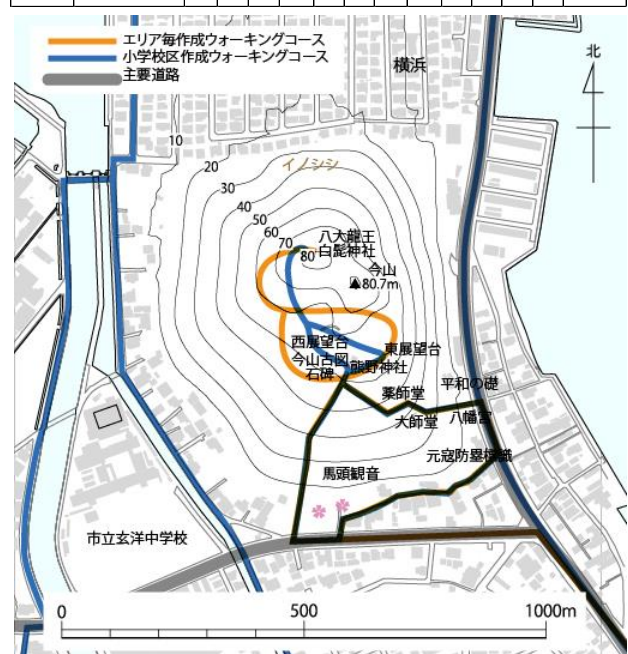


図4 玄洋校区・今宿エリア今山コース